



ま ろ に え

令和 8 年 9 月 1 日
学校だより 第 5 号
羽村市立羽村第一中学校

実り多い 2 学期に！！

校 長 田 村 孝 夫

長い夏休みが終わり、久しぶりに子どもたちの元気な声が校舎に戻ってきました。夏休み中のさまざまな経験や思い出を胸いっぱい詰め込んで登校してきた子どもたちの姿を見ると、心も体も一回り、二回りと大きくなり、たくましく成長したように感じます。元気な子どもたちと再会できたことを何より嬉しく思います。

さて、2 学期は、生徒会役員選挙（9 月）、そして「羽一 2 大行事」の一つである体育大会（10 月）など、大きな行事が予定されています。これらの行事では、一人一人が役割に責任をもち、仲間と協力して一つの目標に向かって取り組むことが大切です。活動を通して、達成感を味わうだけでなく、仲間を思いやる心や最後までやり抜く力も育ててほしいと思います。

また、学校行事だけでなく、日々の授業や学級活動、友達との関わりなど、毎日の学校生活にも成長するための学びがあります。子どもたちと教職員が一緒になって「人として大切なことは何か」を考え、互いに学び合いながら、一日一日を大切に過ごしていきたいと思います。

さまざまな経験を重ねる中で、子どもたちが自分の可能性を広げ、仲間とともに成長する 2 学期にしてほしいと願っています。学校と家庭、地域が力を合わせ、子どもたちの成長を支えていければと思います。今学期も、羽村第一中学校の教育活動に、保護者・地域の皆様のご理解とご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願いいたします。

自助・共助の役割について考える機会に

大正 12 年 9 月 1 日、関東大震災が発生し、地震による建物の倒壊や火災などによって、多くの尊い命が失われました。この震災の教訓を生かし、災害が起きたときに落ち着いて行動できるよう、引き取り訓練等の様々な防災訓練を行っています。しかし、大きな災害は過去の出来事ではありません。今年 7 月 28 日には、熊本地方を震源とするマグニチュード 7.1 の地震が発生し、最大震度 7 を観測しました。地震はいつ、どこで起こるか分かりません。だからこそ、日頃から災害への備えをしておくことが大切です。

災害が発生すると、家や塀が崩れたり、火災が発生したりします。不安になった人は判断力を失い、うわさや間違った情報に惑わされたりすることがあります。そのような行動は、さらなる二次被害につながる可能性があります。災害時には、正しい情報をもとに冷静に判断し、先生や地域の大人、リーダーの指示に従うことが重要です。

そして、災害時に大切なのが「自助」と「共助」です。まず自分の命を守ることが自助です。その上で、周囲の人と助け合うことが共助です。一人一人が自分の役割を理解し、協力して行動することで、多くの命を守ることにつながります。

中学生は、災害時に大きな力となることができます。小さな子どもをおんぶしたり、高齢者や障がいのある人を避難させたりするなど、自分にできることがあります。ただし、人を助けるためには、まず自分自身の安全を確保することが大切です。

安全な行動は、一度や二度の訓練だけでは身に付きません。登下校の道を自然に歩けるように、災害時にも無意識に安全な行動がとれるよう、日頃から真剣に訓練に取り組む必要があります。

関東大震災や熊本地震など、過去と現在の災害から学び、自分の命を守る力と、周囲の人を助ける力を身につけてほしいです。

ユニセフ募金

1学期に生徒のみなさんからユニセフへの募金（合計4193円）が集まりました。生徒のみなさんの気持ちを込めて振り込みました。夏休み中にユニセフから感謝のポスターが届きましたので職員室前に掲示してあります。募金してくれた生徒のみなさん、ありがとう！

9月の主な予定

9月 4日（金）	引き渡し訓練
9月 5日（土）	道徳授業地区公開講座
9月14日（月）～15日（火）	定期考査
9月24日（木）	生徒会選挙
9月30日（水）	体育大会予行

羽村第一中学校ブログ

日々の様子をブログ（ホームページから入れる）にアップしています。お時間がございましたら覗いてみてください。

学校ブログ：<https://haneichi.blogspot.com/>

